

令和5年度 日本大学 学生FD CHAmmit

第6回 スタッフミーティング報告書

日本大学 学生FD CHAmmit スタッフ一同



自主創造
日本大学

第6回のスタッフミーティングを8月30日に続いて8月31日に対面で日本大学本部にて行いました。ファシリテーション研修としてセッションを通して流れを確認、疑問点の解消や場のまとめ方の練習をしました。

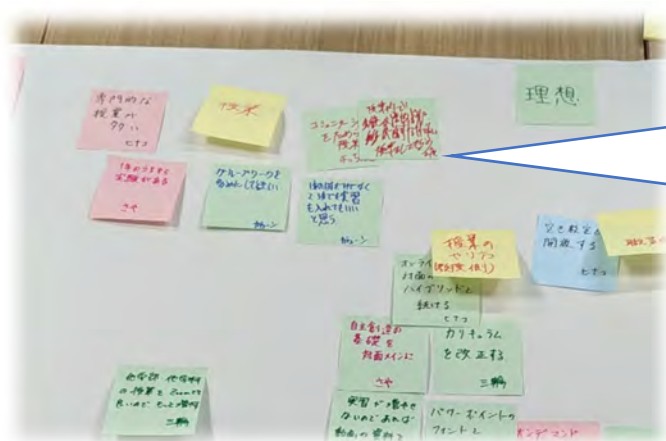


本報告書は、私たち学生の声を教職員の皆さんと共有する事で、[日本大学の教育をより良いものにしたい](#)という狙いの元に作成・公開しています。本報告書が学生、教職員、そしてそのほかの日本大学に関わる人々にとって、少しでも参考になれば幸いです。

<8月31日:第6回ミーティング>

○ファシリテーター研修

セッション1から3まで通して本番のように練習を行いました。ファシリテーターとしてのレベルアップのために、あえて話し合いを乱す存在を一人グループに加えて練習をしました。これにより議論は紛糾し、時間ロスを招くかもしれない。そんな「かもしれない」シチュエーションを複数想定し、練習を重ねました。



字が読みづらいときには、本人に
内容を確認したり…

話をうまく引き出したり、
逆に内容を脱線させないように
したり…



など、どのグループも工夫がみられたミーティングになりました!

○セッション3:学部提案書(模擬)

共通項	①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・学生主体の委員会作成 ・HP にイベント内容の掲示欄 ・先輩との交流ができる取得単位型の授業を行う ・先輩との交流ができるサイト・アプリを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学全体で気軽に交流できる会を作る ・HP にイベント内容掲示欄 ・オープンチャットを作る ・ワールドカフェを2,3年次で行う ・全学部共同のサークル作成 ・学生イベントを企画する団体
システム	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンワークを電子媒体で設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリット形式の授業設置 ・良いハイブリット授業を行う教授を表彰、授業を参考に ・ハイブリット授業を行う際、学生に協力してもらう ・空き教室の開放と、他学部の授業での利用 ・実習中に受けられなかった授業を補う対応
授業	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイル充電器や傘の貸し出し ・シラバス改善のため学生の評価により先生がゼミを持つ ・同じ科目での評価方法を統一 ・単位履修の説明や相談の場 ・授業前以外で出席確認する基準 ・課外授業を増やす(学長でなく学部長セレクトなど) ・カリキュラムを変えて実習期間を延ばす ・パワーポイントフォント統一 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出るためのスキルが身につく講座 ・チャット形式で質問ができる
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの設置 ・wifi の強化(ルーター増設) ・学部への目安箱増設(ポータル等でも) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生課や図書館などに傘、携帯の貸し出しの場を設ける ・障害がある方でも過ごしやすい環境にするため専用の課設置 ・IC チップの学生証で入退出管理(学校外に出たら先生に連絡)

学部提案書の「日大教育の未来のビジョン」では、より具体的なアイデアが提案されるようになり、話の深掘りがどのグループもうまく出来るようになってきていると感じました。

この調子で残りの一週間と少し、オンラインでも対面でも研修を続けて、**当日の参加者全員の思いが詰まった学部提案書**を作成できるようスキルアップしていきます！



STEP UP! 